

精一杯やり抜いた選手達に惜しみない拍手

## 小城・多久地区中体連開催

7月18、19日多久市・小城市内で中学校総合体育大会地区大会が開かれました。梅雨の合間の炎天下、中学3年生にとっては、中学校最後の大会で保護者や部員の声援を力に、日頃の成果を発揮し熱戦を繰り広げていました。試合を終えた選手たちには勝っても負けてもあたたかい拍手が応援席から送られました。ソフトボール競技では、中央中が地区大会を制し、柔道団体競技では中央中が男子4位、また剣道・柔道・ソフトテニス・卓球の個人入賞者も県中体連大会(7月29日〜30日開催)に出場しました。



▶地区優勝した中央ソフトボール部



▶懸命に相手ゴールを攻める西溪中サッカー部



## 市長のWindow

## 市長コラム

▼市民のみなさんへ

### 「天・地・人」で未来を拓こう

「天」に現れた46年ぶりの日食。7月22日の県内市長会議に着いた時に見た。なんとなく陽光不足かと思ったら、日食だった。見上げると流雲が天空をおおっていた。人々も外に出て空を見上げる。曇りで「見えないかも」と心配で仰げば、流れる雲間に、光る太陽が見えた。三日月よりも細い。まさに天空の雲の隙間から木漏れ日のように輝く光景だった。

日食のピークは県内では10時56分頃。前後2時間に日食が進んだ。このように天は定刻で、数学のように正確に動く。「だから月に到達できた」と科学者。7月20日は人類が初めて月面に立った日。1969年のことだ。当時13歳の私は専門書を一気に読破した。鮮明に憶えている。そのまま進めば宇宙飛行士をめざしたのかもと思う。それが今では地を奔走する首長。万事に感謝し、少しでも良い社会にと全力を尽くす。

「地」の奔走から、内閣府の地方分権改革推進委員に選任された。これは衆参両院同意を経て総理大臣からの任命で、全国806人の市長から唯一人。それだけ極めて重要な職責で、会議も多く、体力も要る。交通費は内閣府からだが、その機会に市の要望にも動く。まさに一石二鳥。多久という地方の現場で気付くこと、行政の実体験で感じることを基に進言する。その動きに伴い広がる出会いは、大事な人脈ネットワークとして予算確保や活性化に活かす。「只では動かぬ」の信条からだ。

動きすぎ出かけすぎと言われそうだが、動いてなんぼが営業の常識。この時代は、市長・市議会・市役所・市民が「人」の力を合わせて予算や施策の確保することが重要。一致して外への働きかけが肝心。まさに「天・地・人」で拓きたい。(俊彦)

## 市交際費支出状況

▼平成21年度6月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	5,000
	累計	5	40,750
見舞い	今月分	1	10,000
	累計	1	10,000
御祝	今月分	1	10,000
	累計	11	44,295
賛助	今月分	2	12,000
	累計	2	12,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	57	140,410
	累計	61	147,585
会費	今月分	2	13,000
	累計	6	25,500
その他	今月分	0	0
	累計	2	6,510
合計	今月分	64	190,410
	累計	88	286,640

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

▶ 市長のホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ys/> ◀